

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立古江小学校）

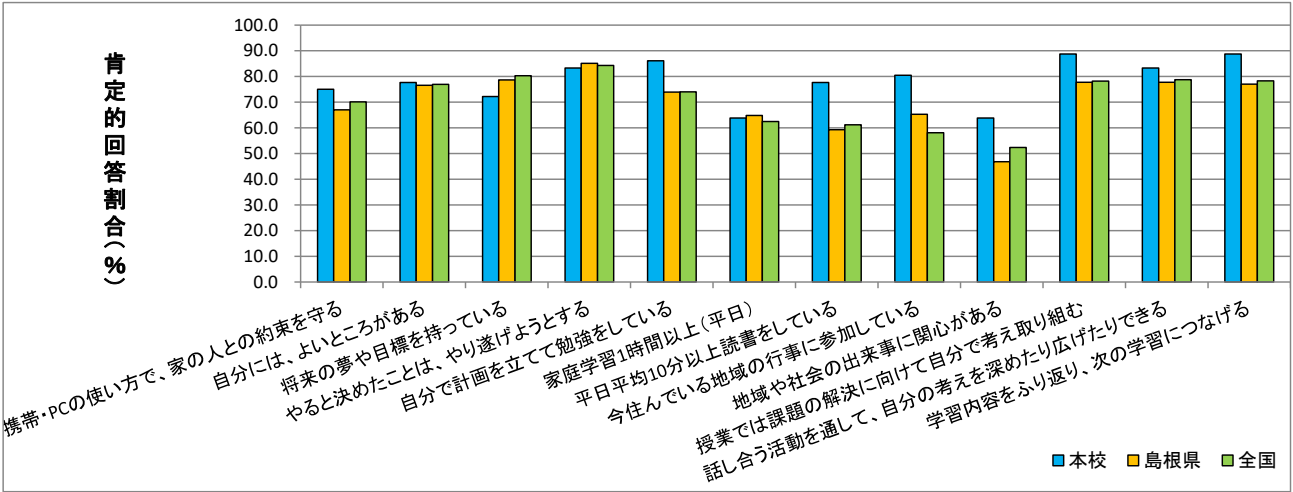
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果、●: 課題)	対 策
国語	○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができている。 ●文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約すること等、「思考・表現・判断」に課題がある。	・授業中に対話的な活動やスキルの活動を取り入れることにより、事柄を整理し、的確に相手に伝える力を伸ばす。 ・説明文での要約する力の習得に合わせ、新聞記事を活用し書かれている内容を捉え、意見交流する場を積極的に取り入れる。 ・図書館教育充実により情報リテラシーと読書習慣の形成を図る。
算数	○三角形の面積を求めることや速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことなどは概ねできている。 ●図形を構成する要素に着目し、面積を求めることや目的に応じて複数のデータから適切なものを選び活用することに課題がある。	・「思考・表現・判断」の力を伸ばすために、自己内対話や全体対話の時間を確保するとともに、タブレットの学習ノートを活用し、互いの考えを「見える化」し、対話を促進し、学習を深める。 ・自分の考えを図・数直線・線分図など多様な方法で示し、伝え合う授業を行う。

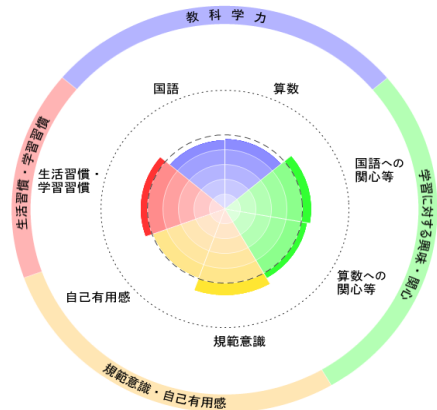
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果、●: 課題)	対 策
○ICT機器の操作に馴れ、学習での活用能力も高い。 ○国語・算数の必要性を認識し、将来役立つと考えている児童が多い。 ○コロナ禍でも計画的な学習、規則正しい生活ができた児童が多い。 ●英語の学習は好きだが、使う機会が少ないと感じている児童が多い。 ●将来の夢や目標をまだ持てない児童がやや多い。	・外国の方との出会いの機会をできるだけ設けたり、SNSなどを利用してより身近に感じたりできるように努める。 ・「子ども夢未来塾」などの積極的な活用や総合的な学習の時間・生活科等の活動をキャリア教育の視点で明確にして実践するなどキャリア教育の充実を図る。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・対話型の授業づくりをさらに推進していく。
- ・学びを深めるためのタブレットの効果的な活用法の探究。

【受検者数】 35 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。